

かていれいはい さいがいに
家庭礼拝ガイド（災害時のために） 第三日

よ お とき
テーマ：世が終わる時

せいしよかしよ ふくいんしよ しょう
聖書箇所：マタイの福音書 24 章

きょう
◆今日のみことば

「ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。」マタイの福音書 24 章 4 節

◆メッセージ

みなさんは台風の大雨や大風、地震などで怖い思いをしたことがあるでしょうか。日本は地震の多い国ですし、地球温暖化によって豪雨の被害は大きくなっています。

2011年の東日本大震災では2万人もの人々が亡くなりました。亡くなった人のいる家族の悲しみは今も続いています。みなさんはどうでしょうか？自分とはあまり関係ないことと思うのでしょうか。それではいけません。

聖書は世界に終わりとあります。太陽や地球には寿命がありますから、世界が終わるのは確実です。でも、それは遙か先のことなので、だれも心配しません。心配なのは、人間が核戦争や地球環境で世界を滅ぼしてしまうことです。神さまがどのように終わらせるかはわかりませんが、世界は終わります。マタイ 24 章には、世が終わる前に起こる戦争、飢饉、地震、偽キリストなどのことが書いてあります。

災害は、いつも神さまが守って下さっている自然が、人間に被害を与えることです。これは「世が終わる時」のための警告です。私たちはどうしたら良いのでしょうか？

4 節には次のように書いてあります。「ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。」目を覚ますということは、神を信じること、神さまに喜ばれるように生活することです。神さまを礼拝し、人々を愛することです。

災害は、私たちが目を覚ますための目覚ましのようなものです。目を覚まし、起き上がって神さまの喜ばれることをしましょう。信仰を持って「世が終わる時」に備えましょう。人はみな死にますが、それはその人にとっては「世が終わる時」です。イエス・キリストを信じて天国の約束があれば安心ですね。信仰を持って、お祈りやボランティア活動で災害に苦しむ人を助けることは、神さまの喜ばれることです。

いの
◆お祈り

「私たちの天の父なる神さま、私が目目を覚まして、いつも神さまの喜ばれること、隣人を愛することができるようにしてください。」

(派遣教師 山口陽一)